

第6次小山市行政改革大綱及び実施計画 (平成27(2015)年度～令和元(2019)年度)

実施状況最終報告書

令和2年12月

本市では、昭和60(1985)年に「第1次小山市行政改革」を定めて以来、市民の生活意識や価値観の多様化、社会経済状況の変化などに対応するため、これまで5度にわたる改定を行い、行政改革を進めてきました。平成27(2015)年度から令和元(2019)年度にて実施した「第6次小山市行政改革」では、施設・事業効果の最適化を図る「行政内部の変革」及び、市民の協働・自治を推進、強化する「市民と行政の関係の変革」に取り組むことで、効率的で質の高い行政運営の確立と市民協働、地域分権型社会の実現を目指すこととし、改革の目的を「分権社会に対応した創造的で持続的な行政運営の推進」として、3つの基本方針、8つの推進項目を定め取り組み推進してきました。5年間の計画期間中においては、市長を本部長とする庁内組織である「行政改革推進本部」において進行管理を行い、市内各種団体推薦者等で構成する「小山市行政改革推進委員会」に進捗状況を報告し、行政改革の取り組みに対し助言及び提言をいただき行政改革を進めてきました。令和元年度をもって「第6次小山市行政改革大綱」の計画期間が終了となりましたので、5年間の実績をまとめた最終報告書を作成しました。

1. 第6次行政改革取組総括

(1) 取組効果額（年度別）

	効果額（千円）	目標額（千円）	達成率
平成 27 年度	465,113	406,598	114.4%
平成 28 年度	469,289	413,311	113.5%
平成 29 年度	534,927	548,040	97.6%
平成 30 年度	657,185	630,824	104.2%
平成 31 年度	751,611	523,426	143.6%
合計	2,878,125	2,522,199	114.1%

(2) 取組効果額（項目別）

	効果額（千円）	目標額（千円）	達成率
1. 人口減少社会に対応した 効率的で質の高い行政経営	494,383	394,739	125.2%
（1）業務の効率化	262,926	144,061	182.5%
（2）効率的で質の高い公共サービスの提供	26,531	33,312	79.6%
（3）伸びゆくまちづくり	204,926	217,366	94.3%
2. 分権時代に対応した人材育成と 持続可能な財政運営	2,383,742	2,127,460	112.0%
（1）職員の意識改革と創造力のある人材の育成	0	0	-
（2）市民ニーズに対応した組織機構の最適化	67,797	241,056	28.1%
（3）財政基盤の強化と計画的な財政運営	2,186,147	1,719,552	127.1%
（4）公共施設等マネジメントの推進	129,798	166,852	77.8%
3. 多様な主体・地域が協働した まちづくりの推進	0	0	-
（1）市民や地域との協働の推進	0	0	-
合計	2,878,125	2,522,199	114.1%

(3) 進捗評価集計

評価区分	A：計画より早い	B：計画通り	C：計画よりやや遅い	D：計画より大幅に遅い	合計
件数	16	66	20	6	108
割合	14.8%	61.1%	18.5%	5.6%	100.0%

(4) 項目別進捗評価（件数）

基本方針及び推進項目	A	B	C	D	計
1. 人口減少社会に対応した 効率的で質の高い行政経営	3	21	7	1	32
(1) 業務の効率化	0	5	2	0	7
(2) 効率的で質の高い公共サービスの提供	2	12	4	1	19
(3) 伸びゆくまちづくり	1	4	1	0	6
2. 分権時代に対応した人材育成と 持続可能な財政運営	10	25	7	5	47
(1) 職員の意識改革と創造力のある人材の育成	1	3	1	1	6
(2) 市民ニーズに対応した組織機構の最適化	0	3	1	1	5
(3) 財政基盤の強化と計画的な財政運営	8	12	4	2	26
(4) 公共施設等マネジメントの推進	1	7	1	1	10
3. 多様な主体・地域が協働した まちづくりの推進	3	20	6	0	29
(1) 市民や地域との協働の推進	3	20	6	0	29
合計	16	66	20	6	108